

薬学部 令和5年度3つのポリシー定期点検会議 議事録

開催形式：本年度はコロナが収束しており、3ポリシー委員が参集して会議を行った。会議の効率化を図る目的で、令和5年度6月 日～7月 日に委員に事前アンケートに回答してもらい、議論する内容をあらかじめ整理した。

開催日時：2023年7月28日（金）18:00～19:00

場所：薬学部 105 室

出席者：

【学科教員】

学科教授及び自己点検シート執筆教員

【学外評価参画者】

田尻 耕太郎 一般社団法人群馬県薬剤師会 会長

原佳津行 一般社団法人 群馬県病院薬剤師会会長

【教育改善委員（学生）】

5年生 2名

4年生 1名

3年生 1名

【学科教員】

学科全教授及び高橋（成）准教授（自己点検シート執筆者）

【配布資料】

- ・ 薬学科 3つのポリシー
- ・ 事前アンケートの集計結果（教員）（学外評価参画者）（教育改善員）計3部
- ・ 議題：コメントからの抜粋、内部質保証、PDCA サイクル等の説明資料
- ・ 令和4年度の3つのポリシー点検会議後の意見等への対応表
- ・ 内部質保証のためのPDCA サイクル
- ・ 薬学部3つのポリシー印刷物

- ・ 令和4年度自己点検シート一式

基準1（大学 薬学科 理念・目的）

基準2（大学 薬学科 内部質保証）教員のみ

基準4（大学 薬学科 教育課程・学習成果）

基準5（大学 薬学科 学生の受け入れ）

基準6（大学 薬学科 教員・教員組織）基準7（大学 薬学科 学生支援）

基準 8 (大学 薬学科 教育研究等環境)

基準 9 (大学 薬学科 社会貢献・社会連携)

基準 1 (大学院 薬学専攻 理念・目的)

基準 4 (大学院 薬学専攻 教育課程・学習成果)

基準 5 (大学院 薬学専攻 学生の受け入れ)

基準 6 (大学院 薬学専攻 教員・教員組織)

【司会、資料説明】 平野、常岡

1 事前アンケートの集計結果、概要、自己点検評価結果の報告 (常岡委員)

1) 3つのポリシーに関しては、問題は指摘されなかった。

2) 令和4年度自己点検シートに対する主なコメントの紹介。

2-1) 基準1 理念・目的 ② 大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。

について

コメント1・・・「自利利他」の精神は医療人にとって重要なので、在学中は継続して学生に周知すべきと思う。(外部委員)

コメント2・・・建学の精神「自利利他」の浸透が課題(教員)

コメント3・・・対策を講じているものの、まだまだ学生には伝わっていないと思われる。

(学生委員)

2-2) 全般に対してのコメント：特色を出すためのPDCAのPlanの策定をできるだけ早く行ったほうが良いと思われる。

2 PDCAサイクルと内部質保証システムについて常岡委員より以下の説明が行われた。自

己評価シートの説明文について理解度が低かった(5点満点中3点台)のは 教員による評価の内部質保証のシステムについてであった。

基準2 内部質保証

大学	薬学科	基準 2	内部質保証	点検 No.5
⑤	内部質保証システムの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。			

<ul style="list-style-type: none"> ○全学的な PDCA サイクルの適切性、有効性 ○適切な根拠（資料、情報）に基づく内部質保証システムの点検・評価 ○点検・評価結果に基づく改善・向上
--

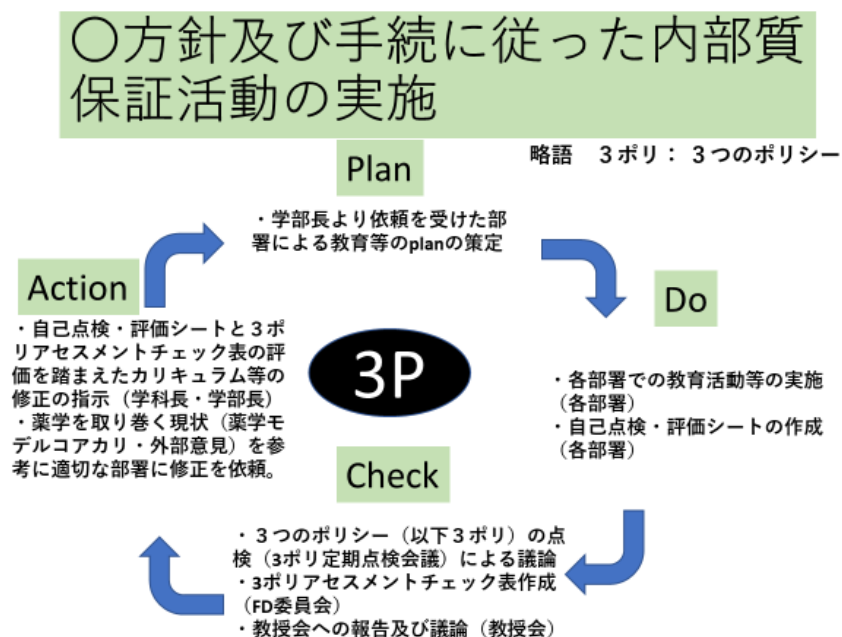
① 内部質保証を実施するための FD 委員からの提案

・・・内部質保証を確実に実行するため PDCA を明確化する

P : Plan, D: Do, C:Check, A:Action

- I. 3 ポリ会議で抽出された課題を教授会等での議論の後、学部長・学科長が重要課題を選別し、課題の解決を適当な委員会等に依頼する。PDCA の A と位置づける。
- II. 各委員会等が P, D を実施する。
- III. 3 ポリ会議での議論、アセスメントチェック表作成、学部の教授会での議論、により C を実施する。
- IV. III の C の結果を受け、学部長・学科長が次年度の重要課題を決定する。

・・・PDCA サイクル図の概念図



② PDCA サイクル実施例：PDCA サイクルを利用しつつ3つのポリシーを改善する手順について提案した。

3つのポリシーに関しては、問題は指摘されなかったが、

・新コアカリ対応のものに改定する必要がある。3ポリ会議で本学の理念である「自利利他」について意見あり。・・・Check

- ・学部長の指令により、教務委員会へ DP 修正の指示・・・Action
- ・教務委員会による新コアカリ対応の DP について修正の実行・・・Plan & Do
- ・教授会、3 ポリ会議にて 修正案の議論・・・Check
- ・学部長の指令により、DP 修正の指示 または 修正の終了・・・Action

3 令和4年度の3ポリ会議後の対応表を基にした内部質保証の評価の報告
平野委員より、評価の報告が行われた。(R4年度の対応表を添付)

4 今後の内部質保証のためのPDCAサイクルの提案 (寺田)
寺田学部長より、以下のPDCAサイクルの具体的実施案が示された。

内部質保証のためのPDCAサイクル

(Action)

3つのポリシー委員会で抽出された課題から自己点検委員会が重要事項を抽出し、
学部長・学科長が、課題の解決のため検討を適切な委員会に依頼する

(Plan)

各委員会は、プランを1か月以内に自己点検委員会に提出プランの内容は、依頼された課題の①優先順位付け、②実施期間を委員会で協議し提出

(Do)

各委員会は、課題を実施し、3か月ごとに自己点検委員会に文書で報告

(Check)

年度末の自己点検評価シートに課題の検討を含めて成果を報告

自己点検評価委員会で、3つのポリシー会議からの新たな課題を含め、未解決の課題も含め
重要課題を抽出し、PDCAサイクルを回す

この案に対して、

1) 新提案について、「3か月」という語は、対応時期

PDCAサイクルの最後の評価点をつけるのは、対応すべき部署(委員会)の担当者が
関与すべきとの意見があり、今後検討することとなった。

5 その他

原外部評価委員；PDCA サイクルを病院でも行っているが、常に課題を検討していくということが大切。

田尻外部評価委員；これまで、書面アンケートのみとのきは、本会議の主旨があまり理解できなかった。今回対面会議に出席して、主旨がよくわかった。R4 年度の資料を見ると、抽出された課題の数が膨大である。喫緊に解決すべきものと、すぐには解決できない中長期的に対応すべきものがあるので、整理してはどうか。

学生委員 1；このような会議が行われていること知らなかった。今後も学生の意見も聞いていただきたい。

学生委員 2；3つのポリシーの中で、多職種間のチームワークに関する記載がある。
多職種のチーム医療に関する授業をもっと多くしてほしい。

おわりに 松岡 学科長より、本会議の総括が行われた。

総括：このような会議を有効に使うって PDCA サイクルを回し、薬学教育の質を高めていきたい。